

国立大学法人北海道大学大学院歯学研究院
口腔健康科学分野歯周・歯内療法学教室教授候補者
公 募 要 領

I. 提出書類

下記の1～10の書類各1部と、2～10をスキャナー等で電子化しそれぞれPDFファイルで保存した記録媒体（CD，DVD，USBメモリ等）

1. 推薦書
2. 履歴書（別紙様式1）
3. 教育等の業績
4. 研究業績目録
5. 主要論文別刷又は複写
6. 研究助成金の受領状況
7. 共同研究等の実施状況
8. 臨床等の業績
9. その他の活動，社会貢献等
10. 教育，研究，臨床および管理・運営に対する考え方
（提出書類の作成に際しては，別紙記載上の注意事項を参考にしてください。）

II. 応募締切 平成31年3月22日（金）

III. 提出先

〒060-8586
札幌市北区北13条西7丁目
北海道大学歯学事務部庶務担当
電話 011-706-4313（直通）

（注） 提出書類は書留とし，封書表には「口腔健康科学分野歯周・歯内療法学教室教授候補者応募書類在中」と朱書願います。

なお，ご送付いただいた書類および記録媒体は返却いたしませんので，予めご了承ください。また，ご送付いただいた書類等は教授候補者選考以外には一切使用いたしません。

IV. 照会先

口腔機能学分野 教授 八若保孝
電話 011-706-4290（直通）
電子メール yawaka@den.hokudai.ac.jp

V. 待遇

1. 試用期間 あり（3ヶ月）
2. 給 与 国立大学法人北海道大学職員給与規程又は
国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による
3. 勤務形態 専門業務型裁量労働制を適用
※1日に7時間45分労働したものとみなす
4. 健康保険等 文部科学省共済組合，厚生年金，労災保険，雇用保険加入

VI. 募集者の名称 国立大学法人北海道大学

VII. その他

選考の過程において，ご来学の上，ご講演及びご面談をお願いすることがあります。
また，候補者の診療を視察するため，貴学病院外来を訪問することがあります。

記 載 上 の 注 意 事 項

<用紙はすべてA4版縦とする>

1. 推薦書

推薦書の様式は自由であるが、推薦者の所属・職名を明記すること。

2. 履歴書（様式1）

- 1) 年齢欄には、平成31年3月1日現在の年齢を記載すること。
- 2) 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記載すること。
- 3) 学位欄には、() 書きで授与された大学名を併記すること。
- 4) 職歴欄には、所属の講座、診療科名等も記載すること。
- 5) 留学歴欄には、期間、受入施設名、国名、身分を記載すること。
- 6) 受賞等欄には、学会賞等の受賞について記載すること（本人筆頭のものに限る）。
- 7) 所属学会欄には、学会名及び役職名等を記載すること。
- 8) 認定医、専門医、指導医等には、その種類、認定年月日、学会名を記載すること。

3. 教育等の業績（下記の項目に該当するもの）

*各項目毎に、教員採用前（大学院、医員など）と教員採用後に分けて記載すること

1) 講義

学部学生と大学院生の講義について、それぞれの担当授業科目名、担当内容（簡潔に）、担当年度（期間）、担当時間数を記載すること。また、講義において、教育効果を高めるために試みたことがあるときは、その内容も記載すること。なお、担当時間数はコマ数として記載し、1コマの時間も併記すること。2) 臨床実習も同様に記載すること。

2) 臨床実習

学部学生、医員（研修医）及び大学院生の臨床実習について、それぞれの担当内容（簡潔に）、担当年度（期間）、担当時間数を記載すること。また、臨床実習において、教育効果を高めるために試みたことがあるときは、その内容も記載すること。

3) 博士論文の指導状況

これまでに応募者が研究指導を行った博士論文について、著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載し、その後に応募者の指導内容（役割）を記載すること。なお、応募者の氏名が研究指導者として論文に明記されていないものであっても、応募者が実質的に研究指導を行った論文については、これに含めて差し支えない。また、原著論文と重複しても差し支えない。

4) 学生指導

学部及び大学院学生等の個別指導（クラス担任、学生相談、クラブ活動、留学生指導等）の時期及び内容を記載すること。

5) 委員会活動

大学内外における各種委員会活動について、その時期（期間）及び委員会名とその委員会での役割を記載すること。

4. 研究業績目録

以下の順序で記入し、1) から7) の各項目別に通し番号を付すこと。また、記載はすべて年代順とし、本人の名前に下線を引くこと。

1) 著書

① 編著者の場合

編著者全員の氏名、発行年（西暦）、書名、発行社名、発行地、総ページ数の順序で記載すること。

② 分担執筆の場合

分担執筆者全員の氏名、発行年（西暦）、分担執筆部分のタイトル、編者名、書名、発行社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）の順序で記載すること。

2) 原著論文

著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載すること。また、原著論文のうち、レフリー制度をもつ論文については、通し番号を○印で囲むこと。さらに、英文原著論文については、impact factor のある論文とない論文に分け、論文の最後に、発行時の impact factor および応募時点での citation index を、(IF: , CI: ; Clarivate Analytics 社の Web of Science Core Collection を用いて検索のこと) のようにカッコ書きで付記すること。原著論文における impact factor および citation index の合計も記すこと。そして h-index（研究者が公刊した論文のうち、被引用数が h 以上であるものが h 以上あることを満たすような最大の数値）を記すこと。

また、corresponding author の名前の右上に*をつけること。

印刷公表されていない論文については必ず掲載証明書を添付すること。また、シンポジウムや Proceeding などの論文は3) に記載すること。

3) 総説・症例報告・速報・その他の論文（商業誌等）

前記2) に準じて記載すること。なお、impact factor のある総説については、総説の最後に、発行時の impact factor および応募時点での citation index を、(IF: , CI: ; Clarivate Analytics 社の Web of Science Core Collection を用いて検索のこと) のようにカッコ書きで付記すること。総説における impact factor および citation index の合計も記すこと。

4) 特別講演・シンポジウム等

これらはすべて筆頭演者として招待されたものに限る。発表者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発表年（西暦）、発表タイトル、学会名等（抄録誌、巻、ページ）の順で記載すること。

5) 主な国際学会発表

筆頭演者として発表したものに限り、前記4) に準じて記載すること。共同演者として発表したものについては学会名と数のみ記載すること。

6) 主な国内学会発表（最近5年間、平成25年8月以降のもの）

筆頭演者として発表したものに限り、前記4)に準じて記載すること。共同演者として発表したものについては学会名と数のみ記載すること。

7) 特許等

取得済・出願中の別を記載すること。

5. 主要論文別刷又は複写（主なもの10編、電子複写でも可）とその要旨

別刷を提出する主要な論文10編について、著者全員の氏名（欧文の場合は、名はイニシャル）、発行年（西暦）、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ（始めと終わり）の順序で記載し、その後それぞれ200字以内の要旨を添付すること。

6. 研究助成金の受領状況（これまでに受領したものすべて）

これまでに受領した科学研究費補助金等の研究助成金の受領状況について、受領年度（期間）、研究助成金の名称、課題番号、研究課題名、受領金額、代表・分担の別を記載すること。分担の場合の受領金額は、総額と分担額を区別して記すこと。

7. 共同研究等の実施状況（これまでに実施したものすべて）

これまでに行った学外・学部外施設との共同研究の実施状況について、実施年度（期間）、共同研究施設名、共同研究課題、応募者の役割分担（簡潔に）を記載すること。

8. 臨床等の業績（下記の項目に該当するもの）

1) 紹介患者数（最近5年間、平成26年4月以降で単年度を選び、応募者が自ら紹介を受けたものに限る）。

2) 今までに経験し印象に残った自験歯周治療症例（歯周外科を含む）5例、歯内治療症例（前歯部2例、臼歯部3例）5例の合計10症例について（書式は自由ですが、写真等をつけてわかりやすい内容とすること。）

9. その他の活動、社会貢献等（公開講座、テレビ出演・新聞掲載、生涯研修等）

応募者が自ら行ったものについて、題目、場所・放送局・新聞社・主催者等、年月日の順に記載すること。

10. 教育、研究、臨床および管理・運営に対する考え方

歯周・歯内療法学に関する以下の項目についての将来の抱負を、各々2000字程度で記載すること。

1) 教育について

2) 研究について

3) 臨床について

4) 管理・運営について

以 上